

# 入山のマナー

## 1 決められた道を歩きましょう！

決められたルートでも危険箇所が多くあります。安易な気持ちでの入山はしないでください。



## 2 動植物を大切に！

白神山地の自然はみんなのものです。植物を採ったり踏み荒らさないでください。

## 3 ゴミは持ち帰りましょう！

野生生物に悪影響を及ぼす恐れがあるので、ゴミは絶対に捨てないでください。必ず持ち帰りましょう。



## 4 トイレは適切に！

トイレは入山前に済ませ、万一来て備えて携帯トイレを持参しましょう。

## 5 たき火は止めましょう！

山火事の原因になります。



## 6 ペットの持ち込みは止めましょう！

貴重な生態系に悪影響を与える恐れがあります。



## 7 魚釣りは禁止されています！

現在、世界遺産地域は全域禁漁区に設定されています。魚釣りすることはできません。



# 白神山地

## 岳岱自然観察教育林

# 散策ガイド

東北森林管理局  
藤里森林生態系保全センター

〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3

TEL 0185-79-1003

Email t\_fujisato@rinya.maff.go.jp

ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/index.html>

# 世界遺産 白神山地

白神山地は、秋田県北西部と青森県南西部の県境にまたがる広大な山岳地帯の総称です。

このうち、人手のほとんど入っていないブナを主体とする区域16,971haが、比較的広く、ひとまとまりで残され、動植物の多様性に富んでいることから、1993年12月、鹿児島県屋久島とともに、日本で初めて世界遺産（自然遺産）として、登録されました。

白神山地世界遺産地域は、ブナなどで構成された森林に覆われ、ツキノワグマやクマゲラ、イヌワシなど多くの生き物が生息し、豊かな森林生態系が保たれており、遺伝子の宝庫としても高く評価されています。

世界遺産地域の保護管理は、国や県の関係行政機関が策定した「白神山地世界遺産地域管理計画」に基づいて実施されています。

世界遺産に登録された区域は、林野庁が指定した森林生態系保護地域であり、環境省の指定による自然環境保全地域、一部、自然公園として保護されています。また、国の鳥獣保護区にも指定されています。

(単位：ha)

白神山地世界遺産地域	秋田県側	青森県側	計
核心地域	2,466	7,673	10,139
緩衝地域	1,878	4,954	6,832
合計	4,344	12,627	16,971

(注) 核心地域…基本的に人手を加えずに自然の推移に委ねる区域  
緩衝地域…必要に応じ、一定の行為を規制し、現状の保全を図る区域

## ◆◆◆◆ 周辺の見どころ ◆◆◆◆



(ふじさとこまがたけ)

### ▲ 藤里駒ヶ岳

黒石林道の駒ヶ岳登山口から1時間30分。能代山本地方の最高峰(1,158m)山頂からは、遺産地域や遠く男鹿半島など360度の眺望が楽しめます。



(たなしろ)

### ▲ 田苗代湿原

黒石林道の駒ヶ岳登山口から20分。面積19haの湿原。ニッコウキスゲなど色とりどりの高山植物の花が湿地帯を埋め尽くします。



(つるべおとしとうげ)

### ▲ 釣瓶落峠

秋田・青森両県の県境。釣瓶トンネル手前からは、松原沢峡谷の素晴らしい眺望が楽しめます。



(たいらきょう)

### ▲ 太良峡

約1.1kmの遊歩道(約40分)が整備されています。天然秋田スギ、藤琴川の清流と変化に富んだ岩や滝などが見られます。



# だけ たい 岳岱自然観察教育林

岳岱自然観察教育林は、秋田県山本郡藤里町を流れる藤琴川の上流、藤里駒ヶ岳と三蓋山の二つの高い山に挟まれた台地状のところにあります。

標高約620m、面積約12haで、ブナを主体とする天然林です。

岳岱は、藤里駒ヶ岳の噴火によると考えられる大きな岩が至る所に見られ、ほとんどの岩は苔や地衣類などに覆われています。

それら岩の上で、ブナなどの発芽を見ることができます。これらは長年月を経て岩石を抱きかかえるほどに成長します。岳岱ではこのようなブナの大木が随所に見られます。

また、キハダやヤチダモ、シナノキなどの大木も見ることができます。

ブナと苔むした巨岩などとの調和は太古の原生林さながらの景観を呈しています。

木道沿いにあるモリアオガエルの池では5～6月頃にモリアオガエルの卵塊やクロサンショウウオなどを見ることができます。

誰でもがブナ林の散策を楽しめるように、林内の歩道の一部にユニバーサルデザインを取り入れたウッドチップ舗装道を整備しています。

また、多目的展示施設では白神山地や岳岱の自然を紹介するとともに、休憩場としても利用できます。

ブナの発芽から成長した木に至る成育過程を林内至る所で観察できる、自然豊かな岳岱は、生きた自然の教材としても十分にその役割を果たしてくれています。

森林浴を楽しみ、リフレッシュさせてくれる森林の機能は保健休養機能とともに、近年では、子供たちへの森林・林業体験活動、森林環境教育の場としても活用が広がってきています。

# 岳岱自然観察教育林案内図



# ブナの特徴

ブナは、北海道～九州の山地に分布し、日本の温帯林を代表する樹種です。高さは25mに達します。樹皮は堅く、灰白色で滑らかです。葉は互生し、長さ5～8cmです。

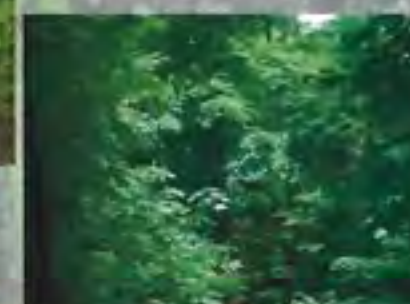
5月頃、黄色い花をつけます。実は秋に熟しますが、豊凶があり、豊作年は通常5～7年に1回程度といわれています。

ブナ林は、多くの動植物を育み、また、漏水や洪水を防ぐなど保水機能が高いといわれています。

# 岳岱の四季



春



夏



秋



冬